



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し「手をとりあって明るいあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

ふれあい

共同募金

みんなで赤い羽根を

この機関紙は皆様からの社協会費と共同募金の配分を受けて発行しています。

編集・発行

多治見市社会福祉協議会

〒507-0041

多治見市太平町2-39-1

電話 0572(25)1134

社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会広報紙 第310号

広げよう 地域に根差した思いやり

多治見市民生児童委員協議会(各務晴夫会長)では、「民生委員・児童委員の日」活動強化週間(5月12日～5月18日)に合わせ、5月15日、市内に13ある小学校の登下校の見守りを一斉に行いました。



脇之島小学校区



精華小学校区

208名の民生児童委員のほとんどが参加し、揃いの黄色のジャンパーを着用して、担当地域であるそれぞれの小学校周辺で、登校または下校に合わせて通学路や危険箇所での安全確認や声かけをしたり、同行を行いました。

民生児童委員は、児童から高齢者まで、地域住民の立場に立って、さまざまな分野の相談に応じ、助言やサービスの紹介・調整などの支援をします。民生児童委員は、地域の皆さんが安心して暮らせるよう、これからも活動していきます。

多治見市民生児童協議会

今月の内容

	ページ		ページ
・表紙 広げよう 地域に根差した思いやり	1	・福祉行事の案内	6
・平成24年度事業報告・決算報告	2・3	・福祉センター見学の報告	6
・夏のボランティア体験の募集	4	・寄付報告	7
・一行詩の募集	4	・7月の相談日	7
・児童館行事の報告	5	・ひまわりサロンの活動紹介	8
・子育て支援センター情報	5	・ボランティア紹介	8

今月の表紙

今月の題字は、滝呂デイサービスセンターに通う、7月で94歳になる安藤貞男さんが書きました。

●ホームページ
<http://www.t-syakyo.or.jp>

●Eメール
info@t-syakyo.or.jp